

こんにちは。神野工務店代表の神野直孝です。

まだまだ暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

最近、熊本県で最大震度7の強い地震が発生し、改めて地震はいつ起きてもおかしくないということを感じます。今回は、私たち工務店にとって特に大切な「地震に強い家」についてお話しします。

住宅の耐震性能を表す目安の一つが「耐震等級」です。

耐震等級1: 建築基準法で求められる耐震性能の水準

耐震等級2: 等級1の1.25倍の地震力に対する耐震性能

耐震等級3: 等級1の1.5倍の地震力に対する耐震性能【最高等級】



神野工務店では、何よりもお客様の生命と大切な財産を守ることを第一に考え、全棟「耐震等級3」を標準としています。

そして大切なのは「耐震」だけではありません。建物の強さで地震に「耐える」のが耐震なら、「制震」は地震のエネルギーを吸収し、建物の揺れやダメージを抑える考え方です。大きな地震は一度だけとは限りません。繰り返す揺れによる建物へのダメージを少しでも軽減するため、神野工務店では**「耐震等級3+制震」**で家づくりをしています。

もしもの時に、ご家族の生命と大切な財産を守れる家であること。

これからも、この当たり前を大切に、一棟一棟責任を持って家づくりを続けてまいります。

新築をお考えの際は、ぜひ11月の完成見学会にお越しください。

K-NEWS

8月2日に娘夫婦、孫、妻と一緒に、初めて長岡花火大会へ行ってきました。

長岡まつりは、長岡空襲で亡くなられた方々への慰霊と、

まちの復興への願いが込められた歴史あるお祭りです。

以前から一度は見てみたいと思っていましたが、

日本を代表する花火大会だけあって、その迫力と美しさは圧巻でした。

花火の背景にある慰霊や復興への想いを知ること、

また違った気持ちで楽しむことができ心に残る夏の思い出となりました。

